

令和8年度 技術・家庭科 家庭分野 第3学年

育成する資質・能力

- (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学期	学 習 到 達 目 標
1 学 期	<p>幼児の生活と家族</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長を振り返り、幼児期への関心をもつようにする。 ・幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性ととも、個人差があることを理解する。 ・幼児の言語、認知、情緒、社会性などの発達について理解する。【ICT活用】 ・子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について理解する。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する。 ・幼児にとって遊びは生活のそのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。 ・幼児とふれ合うことのねらいやふれ合い体験の流れを知る。 ・幼児の発達や生活の特徴から、幼児とふれ合うための自分の課題を見つけることができる。 ・自分の課題にそって、幼児とふれ合う具体的な関わり方を考え、工夫することができる。 ・幼児の心身の発達や生活の特徴に応じたかかわり方を工夫し実践することができる。 ・幼児とのかかわり方について、感じたことや考えたことを話し合い、幼児への理解を深める。 ・子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で中学生ができることを考える。
3 学 期	<p>家庭生活と地域のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活は、地域とのかかわりで成り立っていることを理解する。 ・地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者を理解する。 ・誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして、課題をみつけ、実践的に取り組む。